

# 可部カラスの会

第31号 2000.8.15

## よがんす祭とクリーン根の谷川 夏のビッグイベント

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
 Tel(Fax)814-0162(寺本)  
[kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp)(田中)  
<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

まずは「よがんす祭」です。実行委員会から「今年もやりますから…」との呼びがかかってきました。

8月26日(土)、15時から21時まで、いつものコココーラ広場です。今年のカラスは「残してほしい可部」の写真の中で、大文字祭で人気の高かったものをパネル6枚を使って展示する考えです。町の人と可部をじっくり話し合える時間が取れば……と考えています。

次も定番、「クリーン根の谷川」です。日程は9月10日(日)8時30分～10時30分の予定で、根の谷川流域の清掃です。今年は「可部学区公衆衛生推進協議会(新澤孝重会長)」と共催で実施します。参加呼びかけのチラシ5千枚を可部、可部南学区を

中心に配って住民参加型のイベントにする予定ですが、嬉しいことに川原町内会では「町内会全体で

参加」の意向という情報が入ってきました。根の谷川流域に住む人たち全体のイベントになることを夢見て、今年も大勢の参加を期待しましょう。



去年の「クリーン根の谷川」

### そして「まちづくり横丁」

### 10月、アステール広場で

文化の秋は「まちづくり情報交換」の『まちづくり横丁』です。今年も佐伯区「屋根裏の会」が企画・演出を担当(第2部交流会は可部カラス)し、テーマは『育む』です。例えば「景観の保全」、「地域の花作りの活動」などを報告できることと、その情報を(模擬紙幣で)売買するゲームです。



去年の「まちづくり横丁」から

昨年(第1回目)は「可部カラスの会」が企画・演出を受け持って、第1部・2部ともに大役を果たすことができました。これこそカラスの力をフルに発揮できたイベントでした。今年担当の「屋根裏の会」も佐伯区で「海老山公園」や「タウンモビリティ」の活動で頑張っているグループなので、面白い企画で演出してくれるものと期待しています。皆で参加して賑やかにやりましょうや。

今年担当の「屋根裏の会」も佐伯区で「海老山公園」や「タウンモビリティ」の活動で頑張っているグループなので、面白い企画で演出してくれるものと期待しています。皆で参加して賑やかにやりましょうや。

面白い企画で演出してくれるものと期待しています。皆で参加して賑やかにやりましょうや。

### 定例会じゃあこがいな話しをしたんよ

七月二七日

特記事項 三木さんが定例会に出席

歴史部会

高松山の研修があと一步、三人の末田さんから話を聞き、疑問の解消を計る  
可部と京都の類似点をまとめて報告書を作成する

可部小の資料室整備

遅れないよう担当者は頑張ろう

まちづくりワークショップ参加

広島市主催ワークショップ研修会に

上森さんと山口さんが参加

よがんす祭(八月二六日)

写真展示用パネル6枚は文教で借用

可部中学校からの出前授業要請(十月)

体験を通じ「人としての生き方」を話してほしいとの要望。体験を話したい

クリーン根の谷(九月一〇日)

可部学区公衛協と共催

チラシは次の定例会までに印刷予定

八月九日

クリーン根の谷川

ゴミ袋 市役所と建設省で調達予定

テント 和木さんが手配

勤労者ボランティアセミナー(九月二日)

参加予定者 和木さん

よがんす祭

パネル6枚は前日に借り受けの手配

暑気払い(八月九日)

今日は早めに終了して「彦」で暑気払いを

ゴメンネ

ご存知のように「可部カラス」はヨチヨチ歩きを始めて3年目、その間いろんなことを企画して町の人たちから好意をもって迎えられてきました。その一つとして小中学校の子ども達への「出前授業」があります。その経緯とこれからの展望を新沢さんが手記にしてくれました

# 子ども達との勉強 花ざかり

## 出前授業を振り返って

「あっ！カラスのおじさんだ。おじさん ぼくを覚えている？」スーパーで買い物していると突然こんな声かけられます。うれしいですね。

可部カラスの会では『出前授業』とっていますが、小・中学校から要請を受けて、担任の先生の協力を得ながら教科外の授業を行っています。内容は可部のまちの歴史や文化に関するものが多く、それも写真や記録フィルムを見ながら説明するのでわかりやすいと好評です。

この課外授業ができるのも、3年前に町内外の多くの皆さんから寄せ



三入中学校 (12.7.4)

られた可部

のまちの歴史や変遷を写した

写真や、可部3丁目藤井さんの家に残された大正末から昭和3年までの可部の様子を写した記録フィルムのお陰です。

ことの始まりは平成10年の秋の三入中学校“ふれあいフェスタ”に「なつかしい可部の写真展」貸出しからです。

平成11年2月5

日、亀山南小6年生の「私達が住みたい未来のまちづくり」、つづいて3年生の「可部のまち」、平成12年1月29日可部小3年生の「可部



可部小歴史ウォークラリー (12.7.1)

の町について」、同年2月1日亀山南小3年生の「交通の発達」、2月10日亀山南小5・6年生の「まちづくりを考える」、7月1日可部小6年生PTC「可部のまち歴史ウォークラリー」、7月4日三入中1年生の「地域を知ろう」、この秋は可部中3年生の「自らの生き方考える」を計画中で既に打合わせ済みです。このように課外授業はいまや花盛りです。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

8月 23日 (水)

9月13日 (水) 27日 (水)

#### カラスのイベント等

8月20日 (日)

水質調査 東広島市八本松

8月26日 (土) 15:00~21:00

よがんす祭 (山陽コココーラ広場)

「残してほしい可部」写真展

9月2日 (土) 13:00~17:30

広島県勤労者ボランティアセミナー

ワークピア (広島労働会館)

9月10日 (日)

クリーン根の谷川

10月20日~26日 (この間で1日)

可部中学校 出前授業

10月29日 (日) 13:00~17:00

18:00 から第2部

まちづくり横丁 (アステールプラザ)

これは朗報だァ



新沢さんが“視聴覚教育功労者文部大臣表彰”受賞です。長年の『視聴覚活動への貢献』が認められ、受賞の栄に浴しました。

おめでとう！新沢さん ヨカッタネ新沢さん

# 可部カラスの会

第32号 2000.9.18

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 皆さんの協力で根の谷川の清掃できたあ

今年も根の谷川流域の皆さんから暖かいご協力をいただいて、「クリーン根の谷川」ができました。

9月10日(日)心配だった昨日の雨もきれいに上がり、根の谷川の水量は増えていましたが、



可部高校付近のゴミを集める皆さん

作業に影響することはなさそうです。

私たち「可部カラスの会」のメンバーは

午前7時、所定の場所に到着し、まずはテントの

設営から作業にかかりました。一通り体裁を整えたころから呼びかけに応じて集まる人の数も増えてきて、昨年とほぼ同じくらいの140人となりました。

今年は共催した「可部学区公衆衛生推進協議会」のメンバーも見えました。上流の本部はセレモニーを行った後一斉に作業に取り掛かりました。下流では集まった人が逐次作業にかかり、上流に向かってゴミを収集していきました。

集めたゴミの中には<新品のバイクから部品を抜き取ったもの><威力の強い模造のピストル>などがあり、「我々も環境をよりよくするため、もうちょっと考えんといけませんのお」という声が聞かれました。最後にジュースを飲んで作業終了。皆さん有難う。来年もよろしくネ。

## 敬老の日に 可部のビデオをやったんよ

10月15日『敬老の日』にカラスは上中町内会の依頼を受けて「上中長寿会」の祝賀会で「大正末期の可部周辺」ビデオを見ていただきました。メンバーは新澤さん、瀬戸さん、和田木さんです。会場は開始時間が近づく頃には80名ばかりの人で一杯になりました。

カラスのメンバーの自己紹介に続き、ビデオの上映を行いました。大変驚きをもって迎えられました。今回は「上中にちなんだ写真」をご披露しましたが、歓声があがり続け、地域に密着した催しの成果といえます。

映写会を終えての皆さんの感想は、「貴重な写真、すばらしかった」「二代目の太田川橋の開通は見に行きましたでえ」「川舟の荷物の上に3銭で乗せてもろうて広島まで行って、軽便鉄道で帰りました」などなど素晴らしい思い出をたくさん語っていただき、カラスにとっても楽しい半日でした。



町内会のもてなしに集まった皆さん

### 定例会じゃあこがあな話をしたんよ

八月二三日

太田川いなかもん入会は保留

まちづくり横丁打合田中、和田木屋台のリフォームは岩田さんに依頼

上中長寿会から「大正の可部周辺」ビデオ 出演の依頼は受ける。

人選はは別途

クリーン根の谷川

上流 友広さんほか四名。

下流 加納さんほか三名

午前七時集合

新澤さん祝賀会 ひふみ会館で

よがんす祭 午後一時集合

寺山公園ワークシヨップ

カラスの扱いは一般と同列で。

九月一三日

寺山W・S もっと付近の人をま

きここも

カラスの仕業 原稿の校正を手分

ける。完成は十月十五日予定

可部中 人生を語る十月一六〜二

〇日の間の一日のみ実施

三入中 十月二二日

亀山中 十月四日打ち合せ

十二月八日実施

まちづくり横丁のテーマ

カラスの仕業をビジュアルに編集

それをバックに寸劇

ストーリー担当は友広さん

映像担当は新澤さん

# 今年の“よがんす祭”で 残したい可部を見てもらったよ

今年の『よがんす祭』は8月26日（土）でした。今年のテーマは「残してほしい可部」写真展です。前日、猛暑の中でパネル拝借のため文教女子大学附属高校に伺いました。わずか6枚のパネルを3階から下ろすときの暑かったこと…。明けて当日午前中に会場へパネルを運ぶときも暑かった…。去年は土砂降り、でも愚痴は言うまい楽しい祭、午後1時から会場の設営にかかりました。

まずはパネルの組み立てから、「ちょっと待てよテントが小さいんじゃないか？」6枚のパネルがテントに収まらない感じです。パネルを縦にしたり、横にしたり苦労しながらも、今年のテーマを実行するにはこのほうがいいのかも…。何とか飾り付けを終了、そして午後3時祭のオープンです。暑さのせ



写真を覗き込むお客さんは多かった

いか飲み物のお店は繁盛しているようです。

昼の間は来場者もまばらですが、ステージの出しものに連動して夕方から人も増えました。カラスのテントに来られた人は“じっくり”と何度も見ていかれました。可部小学校「歴史ウォークラリー」に参加した少女と再会して喜びあうシーンもありました。

「残しておきたい可部」の写真に課せられたテーマの一つに《古い家屋を内側から写す》があげられますが、この点でも展示写真の前で話しあった中からちょっとした糸口がつかめたように思われるので、ビジュアル部門のオーソリティにおまかせすることになると思います。これがきっかけで新しい分野の写真が展示されると嬉しいですね

## 新澤さんを祝って20名

永年にわたって視聴覚教育の振興に貢献された新澤さんが、文部大臣から表彰されました。これを肴に酒を飲もうと不純？な連中が集合を呼びかけたところ、20名の同士が（勿論この中には区役所の方も含んで）ひふみ会館に集まりました。

9月6日、お祝いの品々に囲まれて新澤さんご夫婦はにこにこ顔、挨拶では「受賞は思っても見なかったこと。努力したことが認められたんでしょう。生涯学習の気持ちを持ちつづけます」と気持ちを述べられました。

その後は女性連が用意した料理とおいしいお酒に舌鼓、全員が時間制限つきのコメントで会場は一段と賑やかに…。楽しい時間はあっという間にお開きの時間へと進みます。徴収された会費からカラスの運営費にまわされたことは言うまでもありません。

おめでとう新澤さん。良かったね皆さん。



新澤さんの喜び、みんなの喜び

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

9月 27日  
10月11日（水） 25日（水）

イベント等

9月25日 まちづくり横丁 打ち合わせ  
18時30分～ ボラセン

10月4日（水） 亀山中学校打ち合わせ  
16時～ 亀山のまちづくり

10月16日 まちづくり横丁 打ち合わせ  
18時30分～アステールプラザ

10月16日～20日（この間の1日）

可部中学校 出前授業

10月22日（日） 三入中学校ふれあいフェスタ

10月29日（日） まちづくり横丁  
13時～ アステールプラザ

## 体験を真摯に語ろう

### 中学校の出前授業

今年の秋は中学校の出前授業を3校（可部、三入、亀山）で実施することになりました。

自分達の生活体験を、中学生の皆さんとじっくり話し合うことができれば……そんな気持ちで、気張ることなく臨みたいと考えています。

# 可部カラスの会

第33号 2000.10.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 「ひと・まちN・W」の講座に新澤さん

『可部カラスの会』の活動事例を職員の皆さんに紹介して、今後の活動の参考に……と企画された「ひと・まちネットワーク職員研修会」に新澤さんが講師として招かれました。

1回目は9月21日午後1時半、会場は基町の青少年センターで約100名の職員を前にして「カラスの生い立ち（上森さんがナレーター）」のビデオを上映。続いて新澤さん作成のレジメを中心にしては話が進められましたが、何せ講師一人舞台のためフォトビジョンを使っただけの説明に手が回らずの結果となりました。「もうちょっと写真を見てもらう時間がほしかったな」とは新澤さんの感想でした。

### フォトビジョンも登場

2回目は9月29日、前回と同様青少年センターで約110名の職員に、前回よりも講座の方式を少し変更して、「カラスの生い立ち」のビデオの後は和田木さんがサポーターとなり、フォトビジョンを使って写真をふんだんに見てもらいながら話を進めることにしました。

写真をフルに使っただけの説明はさすがで、皆さんに与えるインパクトは大きく、納得した様子で頷く人

があちらこちらで見受けられました。

一通りの講座を終えて皆さんから質問を受けまし



大勢の職員を前に…新澤さん。手前がフォトビジョン

だが、「多彩な活動の情報源は何だろう」という質問とか“大いに参考となったので今後の仕事に役立てたい”と感想を述べる人もありました。

講座が終了してからも、公民館活動を通じてお世話になった職員の皆さんから暖かい激励をいただきました。

3時間立ちっぱなしで頑張った新澤さんご苦労さんでした。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

九月二七日

上中長寿会でビデオの映写は大好評

懐かしい思い出と珍しい記憶を聞いた

歴史部会

順調な仕上がり。使い方は今後の課題

ホームページのリファイン

田中さん手持ちの資料一式を寺本さんに

あとは寺本さんがリファインの予定

寺山探索九月一四日実施

もっと視点を広げよう

次回は十月二一日(土) 本実施

まちづくり横丁

テーマ『学ぶ、育む、楽しむ』

一〇月一一日

カラスの仕業第三集の執筆者決定

平成一三年一月中旬に書き上げる

三入中学校ふれあいフェスタのテーマ

「残してほしい可部」の写真を中心に

根の谷川水質検査 一二月二三日(祝)

午後はおなじみ「芋煮会」

まちづくり横丁 十月二九日(日)

第一部 午後一時から、六時から交流会

カラスの活動の写真をA3版にラミネー

ト、説明文は各自が作文のこと

販売する商品は「カラスの仕業」

仕業大会報を二百円+一〇プログラムで販売

寸劇は次回の定例会で仕上げ

当日持参する物も次回の定例会で決定

カラスの仕業第二集は実費販売で三百円とする

郵送希望は五百円分の切手送付のこと

# 昨年の活動の集大成 カラスの仕業 できたア

昨年の活動を集大成した『カラスの仕業 第二集』が仕上がりました。作成が大幅に遅れましたが何とか「まちづくり横丁」には間に合いました。表紙のデザインはV o 1.1 と同様「98年度未来大学卒業生」旭 千鶴子さんに依頼して、テーマどおりのイラストを描いてもらいました。10月9日、5名が昼食抜きの奮闘で、午後3時には冊子の体裁が整えられ、10日にはキレイに裁断して完成です。これで『まちづくり横丁』で販売するグッズは調達できました。



裁断して揃えれば完成の「カラスの仕業第二集」

そこで皆さんにお願いします。この冊子は『可部カラスの会』メンバー全員で作成したものです。仕事の都合や、時間的に会合に参加できない方も同じ気持ちで活動し、作成にも携わったという共通の理解を持ちたいのです。皆さん是非とも「カラスの仕業」を購入して、読んで、実感してください。1部 300 円で、郵送希望の方は郵送料を含めて 500 円の郵便切手を送付してください。なお、

連絡先は新澤孝重Tel.815-1833 または和田木薫Tel.814-2488 です。

## 総合学習のお手伝い 可部・三入・亀山中学校で

平成14年度から導入される予定の「総合的な学習」に向けて可部・三入・亀山各中学校とも前段の取り組みを企画しておられます。「総合的な学習」の大きな柱は《地域とともに》です。

地域の人とふれあい、先輩達から技や知識を学び取り、学校と地域が一体になって語り合い、お互いを理解し合えばきっといい方向が見つけ出せるように思われます。そこで各中学校の取り組みを紹介します。

**三入中学校**      ここでは既に「ふれあいフェスタ」を通じて地域との交流を図っています。カラスも平成10年からフェスタに参加しています。7月には一学年を対象の「地域を知ろう」のテーマにカラスも参加しました。今後「ウオークラリー」を企画しています。

**可部中学校**      「地域に学ぶ」のテーマで、地域の先輩の話や障害者との交流を図る企画で10月18日に実施します。

**亀山中学校**      地域学習の一端として、亀山を中心とした「歴史を学ぼう」をテーマにカラスがお手伝いします。

### カラスのスケジュール

定例会	
10月	25日(水)
11月8日(水)	22日(水)
イベント等	
10月18日(水)	可部中 出前授業
10月21日(土)	寺山ワークショップの寺山探索
10月22日(日)	三入中 ふれあいフェスタ
10月29日(日)	「まちづくり横丁」 アステールプラザ 13時～
11月4(土)～5日(日)	公民館祭り 安佐北総合福祉センター6階
11月19日(日)	太田川みずべサロン
11月23日(木・祝)	根の谷川水質調査

### 鳥取・松江の災害にカンパを

限りなく広島に近いところで災害が発生しました。ご存知のとおり「鳥取西部地震」です。幸いにして死者はありませんでした、これも日頃からの「地域の情報伝達がよかったお陰」とマスコミは報じています。

今回も事務局からの拠出に併せて皆さんのご好意を集約します。額は問いません。よろしくお願ひします。連絡は寺本 克彦事務局長まで。

# 可部カラスの会

第 34 号 2000.11.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 賑やかに 楽しゅうに「まちづくり横丁」



手際よいカラスの会場設営

店舗の設定は手馴れたもの(刈り取った稲を“ハゼ懸け”して故郷を偲ばせる心憎い趣向)と写真展示(カラスの活動記録)、無駄のない動きで完成です。

午後1時、幕開けの「まちづくり開会宣言」はガールスカウトの代表。若者達によるテーマソングが披露されて、会場の皆さんおおいに歌いました。続いて「ほいじゃけんポン」で名刺交換、ジャンケンしながら自己紹介する仕組みです。

ステージでは「宇宙船地球号」「おやこ劇場」などに続いて「八尾司とマリンスターズ」のスチールギターに乗って華麗なフラダンスが披露されました。

そんな中で横丁は模擬紙幣「プラム」を持った皆さんがお気に入りの情報を仕入れようと、売り手と買い手の駆け引きが見られます。賑やかで楽しさ一杯の「まちづくり横丁」もステージで“負けるが勝ち”のほいじゃけんポン大会で終わり。事務局では《ム》の集計も終わった模様です。

続いて午後6時からみなさん様約70名のメンバーが、横丁の意味で集まってきます。開会は屋の加納さんもヴァイオリンをひいて情報交換の成績発表と、にぎやました。楽しい時間はあっという間、来年の再会を約してお開きとなりました。



元気に唄って踊って…交流会の風景



サロン風なテーブルで商談中

待望の「交流会」です。昨年同健闘と、仲間の連帯を確認する根裏の若者達、もちろんカラスさげて合流しました。乾杯に続き賑やかに、なごやかな交流が続き間に過ぎてしまいます。最後は

### 定例会じゃあこがいな話しをしたんよ

一〇月二五日

まちづくり横丁

当日八時半 可部駅集合のこと

交流会は加納さんと岩田さんにお任せ

太田川みずべのサロン

写真会と写真展をやる。可部線を利用

三入中学校ふれあいフェスタ

生徒は連帯感にあふれ、好感が持てた。

寺山公園ワークショップ

参加者約三〇名、次回は十一月二五日。

可部公民館祭

カラスの活動と残してほしい可部写真展

パネルは文教女子大学で借用する。

歴史部会

昭和初期の可部の町並みを再現したい。

十一月八日。

寺山公園ワークショップ

もう少し早く区役所の情報がほしい

カラスの仕業第三集

原稿の進捗を星取表で管理しよう。

太田川みずべのサロン

ビデオと写真を持参 可部発九・二六分

可部中学校出前授業

九日 樋野村さん・和田木さん

一五日 ちんちろびつつと大文字

水質調査

三入小学校が参加予定児童六、先生二名

調査定点の確定、カメラを用意する。

シユロガヤツリ、紙漉きと細工

田中さん、山口さん

忘年会

一二月二〇日 ひふみ会館予定

# 確かな手応え 可部公民館まつり

平成12年11月4～5日は、《可部公民館まつり》でした。各グループとも展示場所の希望は7階に集中して大混雑です。「可部カラスの会」は6階の大会議室を希望して借り切りで使うことになって大成功でした。

文教女子大学から借りたパネル15枚を縦3列に、真中の広いスペースに花と椅子を配しました。写真は「カラスの活動」と「残してほしい可部」の写真を展示し、演壇にはスクリーンをセット、「大正末期の可部周辺」ビデオのダイジェスト版を映写する配置です。

6階廊下での「園芸同好会」の苗木販売は、相乗効果を生みました。



写真をじっくり眺める人が多かった

1日目の入場者はおおよそ160名、「可部はええ町じゃねえ」とか「立派な物でなくてもいいから写真集を……」「このビデオ明日も上映されるのなら母親を車椅子で連れてきます」などなど確かな手ごたえを感じました。

2日目は約300名、ビデオは中断なく上映、みんな椅子を持ってきて座り、感慨深そうな面持ちの人、カラスのメンバーとジックリ話し合っている人もありました。

カラスの連中はお客さんの表情から確かな手ごたえを感じることができた2日間でした。

## 出前授業にてんてこ舞い 地域の三入学へ

10月22日(日)三入中学校ふれあいフェスタへ参加しました。前日に運び込んだパネルは生徒たちの手でキレイに並べてあって、カラスを感激させてくれました。子ども達も父兄もカラスの写真を熱心に見てくれました。

三入中学校に先立って10月18日(水)には可部中学校3年生の出前授業に参加してきました。

歴史Ⅰで新澤(孝)、田中(加)さんが高松山を案内、歴史Ⅱを樋野村、和田木



三入中学校ふれあいフェスタ

さんが担当で町に残る防空壕を主体に案内、遊びを担当の新澤(慶)さんは“おじゃみ”を作り、生活担当の上森、山口さんも昔の遊びを話して楽しく遊びました。

また11月9日(木)には1年生の授業で、終戦後私たちが可部の町で体験したことなどを樋野村、和田木さんが語って愉快的1日を過ごしました。

## 一人でも多く参加を

### 水質調査と芋煮会

11月23日、根の谷川水質調査&芋煮会を実施するに当たって会員の皆さんにお願いしたいことがあります。できるだけ多くの会員に参加してほしいんです。

今回は活動のねらいが二つあります。一つは会員メンバーの参加を増やして、参加してもすぐに行動できるよう調査ポイントを写真に記録すること、もう一つは、“活動の粋をメンバー以外の人にも広げよう”ということです。早速三入小の児童6名と先生2名が参加してくれます。みんなで行動、みんなで芋煮会をやれば楽しい雰囲気ができるような気がします。ふるってご参加を。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

11月 22日(水)

12月13日(水) 27日(水)

イベント等

11月19日(日) 11:00～15:30

太田川みずべのサロン

山県郡加計町木坂へ可部9:26で出発

11月23日(祝) 9:00～

水質調査&芋煮会

南原川合流点または太田川合流点

上流組へ三入小学校も参加児童6先生2

11月28日(火) 五丁目集会所

古い可部の町再現の話し合い

12月5・7日 三入中学校1年生出前授業

12月5日(火) 事前学習

12月7日(木) クイズラリー

12月8日(金) 13:40～

亀山中学校1年生出前授業



# 可部カラスの会

第 35 号 2000.12.19

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 可部中 三入小の参加で賑わった 水質調査と芋煮会

11月23日(祝)可部カラスの会恒例の『根の谷川水質調査と芋煮会』は午前9時、上流(6名)、下流組(7名)携帯電話で確認して作業を開始しました。今回はカラスの仲間以外に可部中学校(先生と家族2名+生徒3名)と三入小学校(先生2名+児童3名)の参加で、芋煮当番4名を加えて総勢28名という賑やかな顔ぶれでの作業になりました。

作業を開始したところで下流組は残念な光景を目にしました。ビールの空き缶やゴミがいっぱい放置しており、犬を連れて散歩していた近所の人「魚を釣りに来た人がみんな投げ散らかすんです。釣り糸も捨てるので、犬の足にまつわりついて困ります」と釣り客のマナーを不満そうに話していました。



冷たい水につかって採取した『水生生物』の分類を、先生の小さな家族がかわいい手で手伝ってくれました。二人の満足そうな表情が印象的でした。

下流組はやや時間が不足して上流組の応援を貰いようやく作業を終了。

芋煮担当の待つ会場で写真を撮って会食スタート。「うまあい。おいし〜い」と賞賛の声を連発しながら



食事の前に先ず記念撮影

ら、はじめて参加した皆さんも満足そうでした。

可部中学校から参加した3名は「水質調査に興味があつて参加しました。根の谷川はきれいだと思つていましたが、汚れていることが分つて勉強になりました。おまけにカワセミが魚をキャッチするところまで見る事ができて嬉しかったし、芋煮会もとても楽しかったです」と参加した喜びを語ってくれました。同様に三入小学校の皆さんもやゝ恥ずかしそうな表情で喜んでくれた楽しい1日でした。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

十一月二三日

寺山公園W・S事務局の説明

十一月二四日実施のW・Sにイベント性を  
持たせたい(地元への呼びかけ等)

二月は公園の性格付けW・Sにしたい  
以降公園の整備イメージ付けに力点を移す  
その中でW・Sから中間提案をやりたい  
最終W・Sを一三年九月頃としたい。

根の谷川水質調査と芋煮会

上流 寺本、友広、新澤夫妻、上森、辻村

三入小(児童3名、先生2名)

下流 樋野村、和田木、古井、田中、山口

瀬戸、上森

可部中(生徒3名、先生1名)

芋煮 加納、田中、三木夫妻

青い目の人形が、県内に4体あることが判明

今後の取組み対応策は別途検討

出前授業 スケジュールで遺漏のないように

二月一三日

寺山公園W・S

二五日 意見が少なかった

三日(寺山)一般の参加が少なかった

あせらずにやりたい

出前授業

三入中学校 土居屋敷 田中、上森

一里塚 新澤慶、和田木が担当

亀山中学校 新澤夫妻、和田木で実施

可部中学校(総合学習発表会)

どのグループもポイントを絞って上手に

まとめた

課題、町内の重要な学習ポイントについて

簡単なビデオ教材を作成したい

# 太田川みずべのサロンで ひとつ偉くなったよ

平成 12 年 11 月 19 日に「第 3 回太田川みずべのサロン」がありました。JR 可部駅のプラットフォームは紅葉狩で三段峡へ繰り出す人もあり、顔なじみ同志の挨拶が交わされていました。広島駅発の列車は大勢の乗客と結して 4 車両で出発です。

もに可部駅へ。可部で 2 車両を増カラスの仲間 5 名（新澤、田中）に出店する写真と自前の酒れて気分はいいし、缶ビールのやがて列車は目的地の木坂駅へ児童もこのイベント体験を通してきたんです。児童たちの意気ながらイベント地点あたりに目たちを待っているのが見えまし仲間は写真の展示準備。舟に乗



水面に映える帆掛け舟

人たちの心こもった「芋煮」でみんな腹いっぱい。食事が終わって「鮎ヶ平集会所」で勉強会です。カラスの担当は太田川に関わりのある写真展示と川舟と三段峡を主体に編集した藤井さんのビデオの上映です。続いて日本民族学会所属の幸田光温先生から「太田川の舟運と川舟」の講演を聴きました。最後に「川舟の想い」を語り、鮎ヶ平地区の皆さんの心こもったもてなしに感謝しつつお開きとなりました。楽しかったのしい一日でした。

夫妻、寺本、和田木）はイベも提げて列車の人に。座席もと蓋をとる音が聞こえます。到着。なんと三入小演劇部ので演劇の演出を考えようとやっ込みを感じます。ワイワイ喋りをやると 2 艘の帆掛け舟が私た。会場へ到着して、カラスのる人も大勢ありました。地元の

## 持ち味生かした 中学校の地域学習

可部地区（可部、三入、亀山）の中学校では平成 14 年度から実施される『地域の総合的学習』の事前対策に真剣に取り組んでおり、その内容はそれぞれの学校が持ち味を生かしたものとなっています。

三入中学校は 12 月 7 日（火）1 時限～4 時限で“ディスカバリー三入”と題して三入地区のウォークラリーを実施、6 組をさらに 6 班に分けて出発。8 ポイントのうちカラスは一里塚（新澤慶、和田木）、土居屋敷（田中加、上森）を担当し、史跡の位置や当時の生活に即して説明をしました。

亀山中学校では 12 月 8 日（水）、5 時限目に“亀山のまちづくり”と題して、学校区にこだわらず大正末から現代に至るまでの可部のまちの様子を写真とビデオで紹介しながら、まちづくりについて話しました。担当は新澤夫妻、和田木でしたが、時間の制限があつて生徒たちが納得できる説明であつたかどうか多少不安も残りました。



九品寺（可部九丁目） 一里塚の跡

可部中学校では 12 月 13 日（水）5 時限で“総合学習発表会”を行いました。これは 10 月 8 日実施した 3 年生のテーマ“地域を知ろう”の学習の中で生徒たちは幅広いジャンルに取り組み、問題点を掘り起こし整理して発表しました。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

12 月 27 日（水）

1 月 10 日（水） 24 日（水）

カラスのイベント等

12 月 20 日（水）カラスの忘年会

19 時 ひふみ会館 2 階

12 月 31 日～13 年 1 月 1 日

世紀（とき）越え百年祭(カウントダウン)

東広島駅貨物ヤード跡地

具体的には可部線対策協議会の塚田さんから

説明・依頼を受けて応援協力を検討

## 21世紀の活躍を期待して 皆さん よいお年を

今年忙しい年でしたね。小・中学校の出前授業は大きな広がりが見えました。21 世紀は目前、もっと忙しくなるかもしれませんが、みんなの力を結集してもっと頑張りましょうや。

# 可部カラスの会

第 36 号 2000.1.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

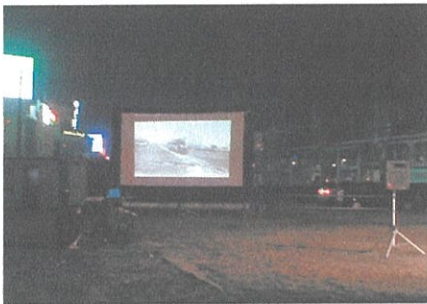
## 世紀を越えて参加したカウントダウン

タイトルのとおり 20 世紀 12 月 31 日～21 世紀 1 月 1 日にかけて、カウントダウンが開催されました。参加したのは代表の友廣さんと新澤さん。場所は東広島(西条にあらず)旧国鉄貨物ヤード跡、31 日午後 3 時に到着して直ちに可部線を主体にした写真約 50 枚を貼付することから 20 世紀最後の作業の開始ですが、何にしても寒かったんです。



世紀は 20 から 21 へ移行。

## 迫力満点の巨大スクリーン



夕闇が立ち込める頃、「映画センター」の皆さんが設営した巨大スクリーンに、カラスの会員でもある坂田良一さんが写した可部沿線四季の風景写真が映し出されました。そしてカラスの定番「大正末の可部風景」の写真、なかでも軽便鉄道の勇姿は目を見張らせるものでした。

2羽のカラスが待てども待てども、藤井さんのフィルムから編集した『可部周辺』のビデオがスクリーンに写されません。待ちきれなくなって事務局に問い合わせしてみたら何の事はない、既に茶房「ムシカ」の中で上映されて大評判を得

ていたんだそうです。そこで再び野外スクリーンの上映となりました。

「オヤジ活性化委員会」提供の屋台で腹捲きの後、いったん可部で休憩。一番列車で加計の“温井スプリングス”へ。温井ダムでは放水式の開始、何か黒四ダムを髣髴させるものを感じたようです。続いて三段峡へ。三段峡ホテルでビデオなどをみて 2 日間にわたる可部線存続の願いを込めた『世紀(とき)越え百年祭』の行事を終えて可部へ帰着となりましたが、寒い中でふたりとも“とにかく”頑張りました。



温井ダムの放水風景

### 定例会じゃあこがいな話をしたんよ

二月二七日

何とはなしに集まって、何とはなし話  
榎の木の門松、NHKが放映。  
カラスが作るように地元の人から提案  
来年は何をやるうか

若い目の人形を可部小学校とタイアップ  
して活動を広げたい

ビジュアルな可部の紹介をやるう

昭和初期の可部再現も頑張つてやるう  
一式飾りも考えてみよう

一月一〇日

可部小学校『可部の文化を尋ねる』企画で  
オブとして音楽担当の高田先生を紹介  
世紀(とき)越え百年祭のカウントダウン

東広島旧国鉄貨物ヤード跡

友広、新澤二名が参加、ビデオは好評  
一日は加計まで行って面白かった

ボラセンからの連絡  
まちづくり横丁の写真申込期限が到来

代表が上口さんに連絡のこと  
表彰時に「マンホールの寸劇」を上演

表彰後、ひふみ会館でささやかに祝杯  
(一九時から)メンバーにも連絡のこと

寺山公園に資料館建設の話  
郷土史研究会の斉さんに「寺山公園W・

S」に参加して構想を説明しよう連絡  
がんばれ可部線の講演会

一月二九日可部福祉センター六階

屋台を用意、試飲コーナー設定の予定

# 今年はこの事をやりたいのお

今年はこの事をやりたいのおと誰が決めたんじやろう。そうです。12月27日最後の定例会があると錯覚したメンバー5名、1階のロビーで「来年はこの事をやりたいのお」と話合ったんです。

## 檜の木の間松 ほかにもいろいろと

ちょうど27日の夕方、NHKが“昭和初期まで、可部では檜の木で間松を立てた”という話題を取り上げていました。新澤さんが町の古老に尋ねたところ、「わしは親父と一緒に山へ檜を切りに行き、間松を立てた記憶があるよ」(朝枝さん)とか「いっぺんカラスが作ってみんないやあ」(川手さん)と話が弾んで、「そんなら、知っとる人に教えてもらって、やってみるかあ」カラスは乗りがいいのか、とにかく作ってみようと衆議一決しました。

### 青い目の人形の活動も

昭和初期のフィルムの中に「青い目の人形を迎へて」というシーンがありましたが、昨年11月NHKのテレビが機縁で、アメリカから送られた人形が広島県内に4体残っていることがわかりました。

人形には1体ずつ名前が付けてあり、広島県には390体が配られて、産業奨励館(原爆ドーム)に陳列された後小学校・幼稚園に配られました。日米友好の願いが、原子爆弾被爆のシンボルに展示されたなんて……。

残念ながら可部小学校には「青い目の人形」に関する資料は一切残されていませんが、小学校の応援をする中で平和学習が広がることを願っています。

そして「その人形を尋ねてみたいねえ」というのがカラスの思いでもあります。

### ビジュアルな案内を

郷土史研究会の下野さんがつくられた『可部のまちかど』を基にして「ビデオ版の可部のまちかどをつ

#### カラスのスケジュール

カラスの定例会

1月 24日(水)

2月14日(水) 28日(水)

カラスのイベント等

2月9日(金) まちづくりデザイン大賞表彰式

14:30 国際会議場

19:00 祝杯(ひふみ会館)

くろうやあ。そうすりゃあ、だれでも可部のことがよう分かるようになるでえ。」

簡単そうに言っておりますが、なかなかどうして大変だろうと考えています。ビデオ撮影および編集技術者がカラスの中にも少なく、できるのは新澤さん一人ですから、技を持たない輩から言い出せるものではありません。でも、今後のためにやっておかないといけない大事なことと思います。

### 一式飾りを作ろう

「瀬戸さん、一式飾り言うたら、どがいなもんネ？」カラスのメンバーが初めて耳にしたものです。

出雲地方で、祭などに展示される飾りで、名前のおとり、家庭にある生活道具のうち一つ種類のを工夫しながら飾り付けるやり方で、例えば陶器だけで武者人形を作るとか……。

「わしも掛合町におったときに見たことあるでえ」とは和田木さん。チンチロビッツに合わせて作ってみようという話になりました。

その他可部小学校の「可部の歌を探る」取り組みの応援など、まだまだありますが、いろんなことをやってみたい。そういう思いが結集したんです。

### まちづくりデザイン大賞受賞

今度はカラスが栄えある『まちづくりデザイン大賞』を受賞することになりました。カラスの場合はユニークな活動で、まちづくりに貢献したことが評価の対象となりましたが、建築のデザインでは、皆さんもご存知の二井谷本店ガラスのお城も昨年受賞しています。

表彰式は二月九日午後二時半から国際会議場で、カラスは群れをなして参加します。そして一昨年の『マンホールのセレモニー』を主題にした「寸劇」を披露する予定です。地域の皆さんの暖かい応援を得ながらはじめて体験するセレモニーです。

そして授賞式を終えて、ひふみ会館で祝宴をやりませう。皆さん一緒に祝いましょ。

# 可部カラスの会

第 37 号 2001.2.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 可部の皆さん応援ありがとう

## 街づくりデザイン賞 貰うたんよ

「可部カラスの会」が広島市から表彰されました。平成12年度ひろしま街づくりデザイン賞の表彰式が平成13年2月9日広島国際会議場で行われ、「まちづくり活動部門」で「可部カラスの会」と「千田わっしょい祭」がともに受賞しました。

式典の後は、各受賞者代表がスピーチをするわけですが、カラスは定番の「寸劇」を披露することにしたので表彰式の開始前にロビーの片隅でリハーサルをやりました。

いよいよ14時半から表彰式の開始。カラスの表彰は最後でしたが、なにしろ活動をはじめて初の受賞とあって司会の案内に、いささか緊張の面持ちで登壇したメンバーは、秋葉広島市長から表彰状とともに“URBAN DESIGN AWARD”と刻まれた銘板をいただいて、ほっとしたところで記念写真を撮りました。壇上から見渡したとき安佐北区長の顔も見えました。



市長とともに記念撮影

休憩の後は受賞者代表のスピーチです。カラスの順番は最終で、寺本事務局長が“カラスの活動内容”を紹介し、寸劇のだしものは“可部のマンホール・オープニングセレモニー”で、どうやら会場の笑いを貰って式典も終了。区長さんを交えて記念撮影を済ませました。

表彰式終了後は一路可部の祝宴会場「ひふみ会館」へ。“よかった、よかった”で乾杯、あとはいつもよりもっと賑やかに、たっぷり3時間。気がついたら閉会の10時でした。

「あなたたちの活動は面白い。寸劇はカラスの活動をストレートに表現していて、楽しかった。」この日受賞したグループの代表は私たちの活動をこのように評価してくれました。

**表彰状**

ひろしま街づくりデザイン賞  
まちづくり活動部門  
まちづくり市民グループ  
可部カラスの会様

貴団体のまちづくり活動は  
本市の魅力的な都市景観の  
創造に大きく貢献し特に  
優秀であると認められました  
よってその功績をたたえ  
これを賞します

平成十三年二月九日  
広島市長 秋葉 忠利

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

一月二四日(水)

がんばれ可部線レディスクラブ  
手伝いは行事が多く全面参加は無理  
日本最初のバスに対するイベント  
横川の意見を大切に

趣旨を可部町商工会に伝える

戸河内小学校の町案内(二月一日)は

時間的余裕なく不可能。二八日の先  
生の事前視察案内は可能な範囲で

先進地の視察 三月二十日に予定

場所未定

街づくりデザイン賞授賞式

授賞式にはできるだけ参加しよう

寸劇のリハーサルも実行

二月一四日(水)

先進地の視察 三月二十日(祝)

岡山県新庄村、鳥取県日野町

可部町商工会にも呼びかけ

街づくりデザイン賞受賞記念祝賀会

メールで意見を集約しよう

大文字祭のテーマ

審議時間不足、メールで意見交換

環太田川会報発行の趣意説明

年間購読に協力要請あり

水援隊シンポ 三月三〜四日

可能な人は安佐南区民センターへ

可部小(三年)昔の暮らし出前授業

二月一九日〜六校時フル活動

山口県玖珂町「地域起こし講演会」

二月二四日 講師は瀬戸・和田木

カラスの会が地域の小・中学校との交流を深めてほぼ3年を経過しますが、来年から子どもたちの教科に《総合的な学習》が新設されるので、子ども達と地域とのつながりはもっと深く、広いものを求められることが想定されます。そこで地域のボランティアグループと学校がお互いの立場を理解しながら活動することが課題になると予想されるので私たちが克服すべき問題点を考えてみます。

## 情報の共有と協働と総合的な学習を考える

まずは「カラスの反省」から。対応できるだろうか?と考え込む象に可部のまち案内をお願いしましたが、1週間しか余裕があり事前に先生を案内し、当日は学校カラスも平常日は仕事や他のボ急な対応ができかねることがある範囲でやろう”というのがカラそこで、次の点を理解しつつ協働す。



三入中学校ウオークラリーから

“私たちは地域の要望にどれだけことができました。「生徒全員を対い」とある小学校から依頼がありません。いろいろと検討した結果、で対処してもらいました。ランティア活動との関連があつてます。“私達ができることをできるの活動の原則だと考えています。体制ができたなら…と考えていま

### 地域内グループの得意・専門分野を把握しよう

目的を持って活動をしているグループは地域に沢山あると思います。子ども達が地域のことをもっと知るためには、それぞれが得意な分野の人から知識を得ることです。そのために地域内の個人・団体・グループがどんなノウハウを持っているのか把握しておくとういでしょう。

### 学習のスケジュールは早めに

学習の目的に合った準備を整えるため、できるだけ早めに予定や計画を知りたいんです。それによって応援者の手配、資料の用意などがスムーズにできるでしょう。

### 訪問先に事前に了承を

子ども達の学習希望が食品や醸造業等であれば、事前に見学可否について確認をしておく必要があります。

### 子どもの目線のみで立案しない

子どもの希望だけで学習計画を立てると「実施困難な計画」が多くなりませんか。学習のあとで子ども達に“選択ミス”の気持ちが残らないでしょうか。(余計なお節介だとは思いますが……)

いささか勝手な論理かもしれませんが、お気づきの点があればご意見をいただきたい…と考えています。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

2月 28日(水)

3月 14日(水) 28日(水)

#### カラスのイベント等

2月 19日(月) 1校時~6校時

可部小学校3年生 昔の生活体験

2月 24日(土) 13:30~15:30

山口県玖珂郡玖珂町

ボランティアセンター

地域おこし講演会

3月 3日(土)~4日(日)

安佐南区民センター

水援隊報告会

3月 20日(祝) 先進地視察

岡山県新庄村・鳥取県日野町

## 頑張れ“可部線”にも協力

### 《難関突破講演会》

可部~三段峡の試験増便期間が終盤を迎える1月19日、安佐北総合福祉センター6階で開催された『難関突破決起集会』をカラスもお手伝いしました。

当日は山県郡を中心とした参加者が大会議室をぎっしり埋めるほどの盛会でしたが、入口に屋台を飾り、チョップリ可部のお酒を提供して大変喜ばれました。

《がんばれ!かべせん 決起大会》カラス編集のビデオ上映試験増便最終日の2月12日戸河内町“戸河内ふれあいセンター”で開かれた決起大会にもカラス4名が参加しました。

会場は近辺から600名の参加者が集合、秋葉広島市長も対策協議会の代表として参加されました。藤井さん提供の映像に加計と戸河内の映像を加えたビデオは場内から大きな歓声が沸きあがり、大変な盛り上がりのうちに終了となりました。

# 可部カラスの会

第38号 2001.3.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 可部小学校

### 出前授業は花盛り

#### 昔の体験と交通の歴史 3年生

可部小学校では“出前授業”のラッシュです。3年生は、「昔の生活を体験しよう」のタイトルで七輪に火を起こして、カキモチを焼こうという愉快的出前授業を行いました。

平成13年2月19日、子どもたちに“火を扱う”体験をさせる日、集まったカラスは新澤夫妻、山口、山名、そして和田木夫妻6名です。学校では“火”を扱うことは高学年で体験しますが、先生の指導によりマッチの扱いは事前に習っていました。必要な道具も何とか工面がついて、新聞紙、焚き付け、消し炭と炭をおこす手順を説明して、本番に入りますが、うまく行かないグループが出てきます。それでも何とか火の勢いもカキモチを焼く頃合となりました。わずか一人一枚のカキモチを楽しそうに焼いて、みんな珍しさから「おいしい」と、とっても喜んでくれました。カラスにとっても楽しい楽しい一日となりました。



更に3月12日には『交通の発達』の授業もやりました。旧道1本だった可部も人口の増加と交通量や物資輸送の増大につれて道路が次第に増えてゆく様子をビデオと写真で説明しました。

#### 6年生は町へ出て勉強

2月14日は雪の降りしきる冷たい日でしたが、6年生は寒さをものともせず、「可部の町探検」に取り組みました。

カラスが担当したのは、明神公園を主体とした歴史、太田川川舟と舟入堀、青い目の人形(全員対象で午後の授業)です。

午前中は2組、明神公園で「ここは船着場で舟入堀といいました。」から始まって可部は昔から交通と物資輸送の要衝であったこと、舟入堀から1日に25艘の舟が広島へ生活必需品を運んだことなどを説明。太田川の川舟を作る人(川口さん)を尋ねる組と明神社付近の歴史を聞く組に分かれて学びました。

その他に醤油やお酒の醸造場を尋ねて学んだグループもありましたが、どのグループも話に耳を傾けてくれました。

#### 定例会じゃあこがいな話をしたんよ

二月二十八日(水)

可部小学校の出前授業

二月四日 六年生4グループへ

二月九日 三年生「昔の生活を体験しよう」で七輪を使ってカキモチを焼く

三月一日「卒業を祝う会」で可部の民謡をメ

ドレーで演奏

三月二日 三年生「交通の発達」樋野村、

和田木、新澤(孝・慶)で参加

山口県玖珂町「男性シニアボランティア」

二月二四日 講演でカラスの活動を披露

水援隊報告会

三月三日(土) 展示写真の準備

四日(日) 発表会と後始末

東広島から講演会依頼あり

三月一六日(金) 寺本、和田木出席予定

大文字祭り

五月末 大文字祭で高松山説明会を歴史部

会と共同で実施

可部小・中学校卒業式にお祝いメッセージを

三月一四日(水)

可部小学校「卒業を祝う会」の可部民謡に、児

童も誇りを感じて唄い、演奏してくれた。

大文字祭に高松山の模型を作る。

プロジェクト、ビデオなど駆使して、ビ

ジュアルなシンポジウムにしよう

東広島の講演会 寺本、山口、和田木が参加

先進地の研修(岡山県新庄村、鳥取県日野町)

集合七時五〇分、区役所前

カラスの花見

四月七日 午後六時 友広さん宅

# 玖珂町までカラスは飛んだ

「玖珂町の“男性シニアボランティア”講座でカラスの活動を話してくれませんか」とメールを送ってきたのは“ひろしま未来大学”で新澤さん・和田木さんと同期生であった中国新聞に勤務する小畑さんでした。

山口県玖珂郡玖珂町（岩国市の隣）で新しい企画として40～60歳男性を対象のボランティア講座が始まり、幕開けに「可部カラス」が選ばれたんです。

講座に加盟の登録をされたメンバーは14名、13時半からの開講時には全員勢ぞろいしました。途中車の中で作戦計画では開会セレモニーに続いて簡単に挨拶、カラスの活動を紹介したビデオで25分、あとはフォトビジョンを使って寺本さん、和田木さんが活動報告を30分ずつ、瀬戸さんは「まちづくりの基本方針」を30分、最後に若干の質問時間を設定する予定でしたが、そうはうまくいきません。



カラスの活動に耳を傾ける玖珂のグループ

作戦変更、一人の持ち時間を20分に短縮です。まずは和田木さん、「可部の願船坊にやあ聴聞ががんすか……」から始まって、カラスのまちづくりは“動機が不純でした。何かうまい儲け口があるかも知れん”それに引き換え、途中から入会したけれど私の動機は崇高でした……。」と皆さんの気持ちを和らげて、思いつくままに活動状況を語って瀬戸さんにバトンタッチ。瀬戸さんは経営コンサルタントとしての体験から、『まちづくり』の成功例として新潟県三島村の取り組みを紹介し、“物産の送付よりも人的交流を主体に考える”方式を説明しました。

しんがりは事務局長の寺本さん。「可部カラスの会」の生い立ちと活動状況を部門別に手際よくまとめて報告しました。

最後の質問コーナーでは「カラスの活動理念はよく分るが、会則なし、会費なしでどうやったらうまい具合に運営できるんじゃろう」とか「方針を決めるのに相当な時間がかかりそうじゃが、定例会はどれぐらいやってんですか」などなど、多彩なイベントをいとも簡単に消化してゆくカラスの行動が不思議でたまらない様子でしたが、「実は資金の調達にはカラクリがありまして……」瀬戸さんが公民館行事に参加して得た謝礼金や酒盛りの余剰金が活動資金になることを説明、どうやら納得していただいたようです。

この日参加したメンバーは比較的若手が多いような感じがしました。玖珂の皆さんがこれから愉快的活動で町に活力を取り戻されることを念じつつ玖珂町を後にしました。

## 高松山のシンポジウムをビジュアルに

今、カラスの歴史部会が熱くなっています。可部のシンボル高松山に関わる資料を集め、実地調査の結果を集大成して、5月の“大文字祭の写真展”に花を添えて『高松山と寺山シンポジウム』をやらかそうという魂胆です。

先日開いた“カラスの定例会”で「京都と可部の町はたくさんの共通点があるんです。それを町の人に知ってもらいたいです」「そりゃあすごいことじゃが、口で説明してもわからんでえ。もっとビジュアルな視点から説明したほうが……」こんな話から

- ・高松山と寺山の模型を作ろう
- ・高松山の研究結果を小冊子にしよう。
- ・視聴覚機器をフルに使ったシンポジウムにしよう

と言うことになりました。私たちの力で、なんとかやってみようと早速取り掛かることになりました。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

3月14日（水） 28日（水）  
4月11日（水） 25日（水）

#### カラスのイベント等

3月20日（祝）  
先進地の研修  
岡山県 新庄村・鳥取県 日野町  
3月25日（日）  
三入小学校 演劇部の発表会  
「水べのサロン」での体験を創作劇で発表



# 可部カラスの会

第39号 20014.15.

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
 Tel(Fax)814-0162(寺本)  
[kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp)(田中)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## みんなの工夫で頑張ります 新庄村と日野町



静かな佇まいの凱旋サクラの街並み

いまでは可部カラスの定番行事となっている“春の先進地見学”、今年はお出雲街道の宿、岡山県美作<sup>みまさか</sup>の国新庄村と鳥取県伯耆の宿、日野町の2町村をお尋ねしました。

可部町商工会や河戸街づくりグループのメンバーも加えて総勢40名、午前8時に安佐北区役所の前からスタート。車中ではカラスの活動ビデオの映写や、ユーモアを交えた自己紹介やらで終始賑やかな雰囲気でした。

午前11時半最初の目的地、村を挙げて街並み保存に尽しておられる新庄村に到着、直ちに新庄村の“まちづくりグループ”の皆さんから活動状況を伺いました。

昼食のあとは『町並みの見学』。静かな佇まいの古風な家並、水路には鯉が泳いでいます。町の景観を保つため、あちこちに住民皆さんの工夫が伺えます。可部の町にもこんなあったらいいなと思うものが沢山。

案内して下さった方々へ感謝しながら、次の見学地日野町へ出発。商店街の空き店舗活用で頑張っておられる日野町を訪ねましたが、町へ入る前あたりから鳥取県西部地震の爪跡があちこちに伺えました。

いよいよ見学の目的施設「根雨宿一番館」へ到着。ここは空き店舗活用1号のお土産店、昨年10月6日の開店30分前に大地震に見舞われ、蒙った被害は甚大。昨年12月8日に再建オープンしたそうです。

街中を抜けて二番館へ。ここは「蕎麦処」、蕎麦を予約しておいたんですが注文数が多くて帰途に就く前にバスまで運んでもらいました。



二番館の前あたりで説明を聞くカラス

## なにィ カラスが花粉症？

さて、帰りの車中は例によって例のごとく、予ねて用意のアルコール分が解禁とあって華やかな宴になる予定でしたが、何となく、カラスの代表と事務局長さんが花粉症の被害に遭遇？いつもの元気がなく、PHS着信メロディでの踊りも披露されません。それでも少々のお酒で元気も出て、話も弾みながら一路可部へ。

車中で可部の町を活性化する方法について意見を交わしました。「可部の道路にニックネームをつけよう」など貴重な意見が出たところで楽しい一日はおしまいとなりました。

三月二十八日

東広島市の活動報告会

ジャンル別にそれぞれ精力的に取り組んでいる感じ、子供たちだけの「酒蔵案内」は面白いが……

先進地見学（新庄村・日野町）

宿場の特徴を生かして、楽しそうな活動。

帰路バスの中での商工会との意見をディスカッションしてみよう

歴史部会

可部の古い町並復元は、上市く五丁目までの一次聞き取りを終了。地域の方々の積極的な応援に感謝。

高松山の模型作成

花見会前に等高図を切り抜くので、応援を

四月一日

大文字祭りシンポジウム

高松山等高図切抜きは終了。発泡スチロールに貼り付ける段階。

歴史部会

高松山の各ルートに案内図がほしい。

各ルートの案内書は大方書きあがるので、見栄えするようカラー印刷とする。

シンポジウム当日の計画

可部と京都の類似点 二〇分

高松山の説明 二〇分で一セット。

午前、午後各一回ずつ開催の予定。

可部の道にニックネームを

商工会と連携して「仕掛人」は地元の方にお願いしよう。

# 可部小6年生が可部の民謡を唄うたんよ

可部小学校音楽担当の高田玲子先生から電話があったのは1月上旬でした。「可部の文化を探る上で、可部の唄が知りたくて……。」先生の意図は可部に伝わる古い口伝的な、働くときにうたう唄を調べて、子供たちに学習させたいという願いでした。情報はすぐにカラスのメンバーにメールで送られました。

定例会に先生も出席され、上森厚子さんが“可部の歴史と文化”(文教女子大学地域文化研究所編)を紹介したところ、“これ!これ!”と大いに喜ばれ、文教と連絡の上研究に取り掛られました。

そして2月下旬、先生からのメールを開くと嬉しいニュース。3月1日「卒業を祝う会」で6年生が可部の民謡4曲をメドレーで発表するというものです。

発表当日、小学校体育館には保護者の姿も見えました。ステージに立った子供たちは堂々と壇上に整列し、「音戸の舟歌」によく似たメロディの「太田川舟歌」で始まったメドレーは「柿むき歌」、「山繭織歌」と続き、最後は「たたら歌」で締めくくられました。

「練習を始めたとき“古臭い”とか“むつかしい”とか言った子供たちも練習を重ねて、“これが可部で唄われた歌なんだ”と実感するようになり、最後には自信をもって唄うようになりました。」高田先生は緩みっぱなしの表情で語ってくれました。

この企画・運営は学校独自のものですが、カラスに相談をいただいて少しだけお手伝いできました。

## 地域に広がる活動評価の輪

湯来町で篠笛を演奏する「<sup>しのぶ</sup>朴風の家」の梶川さんは、

可部小の子供たちの取り組みに大変感動されました。また東京の「(財)河川情報センター」から電話が入って、“可部小学校の取り組みを広報誌で紹介したい。ついでには子供たちが歌った情景写真がほしい”とカラスの会へ依頼がありました。学校への地域の協力態勢も興味深いとのこと。



カいっぱい可部の民謡を唄う可部小6年生

我々の知らないところにも情報は飛び交っていること、地方の活動にも関心を持っている人たちがいることを実感した次第です。

## シンポジウムに向けて がんばってま〜す

カラスの歴史部会はこのところ多忙を極めています。地元の有志から提言のあった『昭和初期の可部の町並み再現』や、『高松山の登山ルート確認』等々、大部分が体を使った活動なんです。昭和初期の可部では旧道、上市(ビッグ付近)から五丁目(可部駅付近)までについて、大まかな見取り図を作成中ですが、地元の古老から積極的な応援を得ています。高松山の4本の登山ルートも山の仲間と歩いて確かめ、好評を得ています。

### まずはパソコンのマスターから

歴史部会はさらに高松山の大大文字祭に『シンポジウム』を開こうと懸命に頑張っています。シンポジウムの目標は①可部と京都には類似点があることのアピール②高松山登山ルートの解説文書の作成です。

そこで歴史部会の女性メンバーがいま夢中になっているのがパソコンの操作です。やってみたがなかなか思うように動いてくれません。それでもカラスのメンバーが手を取り、足を取っての協力で、段組から写真の取り込みは、再々集まって取り組むことでマスターしました。完成も間近いことと思われま。

表紙の作成と文書や写真のカラー印刷も近いうちにマスターできる予定で、5月末の大大文字祭りのシンポジウムでは研究成果の発表で、お祭りの雰囲気盛り上げてくれるものと期待されます。

#### カラスのスケジュール

カラスの定例会

4月 11日(水) 25日(水)

5月 9日(水) 23日(水)

カラスのイベント等

5月 26日(土)午前、午後各1回

シンポジウムと写真展示

可部学区集会所

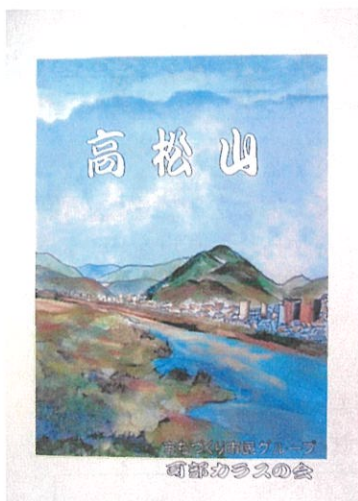
# 可部カラスの会

第40号 2001.5.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
[kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp)(田中)  
<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 着着と進む 大文字祭への準備

今年も高松山の“大文字祭”にあわせて可部カラスはイベントをやりますが、今までの写真展よりも少し方法を変えます。



表紙はチギリ絵で作成

高松山を中心とした“可部の歴史フォーラム”と題して高松山のなぞに迫ってみようという計画なんです。

実行グループは可部の昔のこと全てを知りたいと、可部の歴史に真正面から取り組んでいる『歴史部会』のメンバーで、ざっと1年かけて可部のことを知るうえで欠くことのできない熊谷氏と高松山、土居屋敷、高松山の登山道などを調べてきました。そして集大成として今回上の写真のような『高松山』という小冊子を作成しました。

冊子は、グループの調査に裏打ちされた記録で、パソコンの操作から冊子の構成まで、グループメンバーが寝食を忘れて取り組んだ手作りの冊子です。

今年も高松山の“大文字祭”にあわせて可部カラスはイベントをやりますが、今までの写真展よりも少し方法を変えます。

この中にはグループが具体的に調べて比較し確かめた、可部と京都との共通点を発表します。資料作成に当っては、もちろん“郷土史研究会”や“大文字保存会”の皆さんの暖かい協力をいただいたことは言うまでもありません。

もう一つの快挙、一昨年（2000年）の寺山（2000年）に続いて“高松山”の模型も完成しました。4月30日、友鉄ランドの一室に集合した有志7名は、高松山等高図の切抜きを発泡スチロールに貼り付け、余白を切り落として糊付けして重ねること十数段、高松山の形ができあがったのは午後1時を過ぎた頃でした。

『高松山フォーラム』が開催されるのは、26日（土）

可部学区集会所で10時と14時から、歴史部会のグループが主体となって運営する予定です。



頂上を貼り付けて高松山の模型完成

フォーラムにあわせて『写真で見る可部の歴史』写真も展示する予定もあります。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

四月二十六日

文教女子大学文化祭

七月一日（日）

可部の歴史フォーラムで臨む

大文字祭をにらんでの作業

冊子の作成は四月二十八日ボラセンで

実行

チラシの作成は田中山岩田両氏で検討する

学区集会所は一七時まで利用可能

打ち上げは集会所駐車場を予定、雨

の場合は『ひふみ会館』

チラシは六千枚印刷、新川さんに依頼

A3版プリンター

購入はしばらくペンディング

可部の古老から可部にまつわる話を聞こう

具体的には新沢さんが仕切る

五月九日

日本最初のバス運送開始百周年イベント

横川商店街からの呼びかけあり

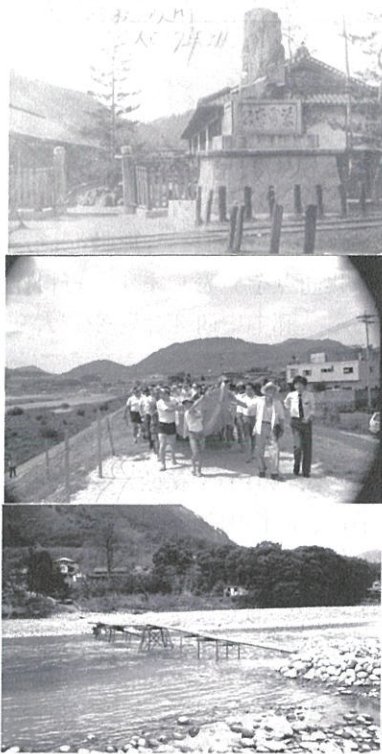
可部町商工会にも呼びかけ

代表が折衝をすることとなった。

高松山（歴史部会作成の冊子）

三百円で販売することに決定。

# 中屋町内会から写真提供の依頼



中屋町内会（会長）は今年、結成50年を迎えます。そこで記念行事の一環として“記録に残るものを”と考えられたのが『記録集』です。

その中に中屋地区の写真を載せたいというわけです。そして「カラスの会が収集した写真の中から中屋地区の写真がないだろうか」との問い合わせがありました。

中屋とは古い地区の呼び名で、大雑把に言うと可部南四丁目を主体とした地域で、大和重工の隣を流れる新川（川舟の水路）から南側になります。

## 写真の掘り起こししてま〜す

歴史を調べても、たびたび太田川の氾濫で被災することが多く、古い資料は残されていないようです。カラスの会としても何とか中屋地区の要望に応えたいと、「懐かしい可部の写真展」などに寄せられた写真を中心に掘り起こしをはじめました。可部の皆さんから提供された好意が、こうした形で地元の皆さんにお返しできることを喜んでいますが、こうした輪がもっと広がるといいですね。

カラスの皆さん写真をお持ちの情報があれば教えてください。

なお、掲示した写真は中屋地区をイメージさせるものを選んでみました。

### メモ

- ・可部地区の町内会名称は古い地域の集落名が使われている。中屋もその一つ
- ・太田川が大きくカーブした位置にあり、水害のたびに被災したため資料が残っていない。
- ・新川（川舟の水路）の下隣に中原小学校があり、昭和17（1942）年可部町と合併するまで、可部町取り囲んだ中原村の子ども達はこの学校に通学していた。

## これ どの蔵？

古い町並みの並ぶ裏通りを歩いていたら、女性に呼び止められてしまいました。袖を引かれてついていった所にこの蔵が建っていたんです。



「ワオ〜すごい」ビックリしてそう言うと女性の顔が輝きました。「誰に作ってもろうたんね？」

もうおわかりですね、そう三木さんちの蔵なんです。

蔵は蔵でも郵便受けという蔵でした。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

5月 23日(水)  
6月 13日(水) 27日(水)

#### カラスのイベント等

5月26日(土) 可部学区集会所  
9:00~17:00  
だしもの  
可部の歴史フォーラムと写真展  
(フォーラムは10時と14時に  
同じ内容で実施)

6月10日(日) 高松山登頂  
9:30 上町屋バス停から出発